

あしきた町議会だより



うたせ

第3号

平成17年7月29日発行

大物が獲れてるみたいよ!



(海浦海岸での地引き網体験学習)

- 大型補正予算の6月定例議会… P2～3
- 一般質問に4名登壇 …………… P6～9
- 陳情2件を採択、全員協議会… P4
- 大丸議長が県町村議長会長に就任… P10
- 農業委員推薦(4名)の臨時議会… P5
- 議会のうちぎ

《平成17年度》

一般会計予算

《15億5073万円 追加の大型補正》

112億9373 万円の本格編成に!!

予算総額197億00 32万円など可決する

今回可決した議案など(平成17年度補正予算を除く)

- (条例制定)
- ・ 芦北町公共施設の暴力団等排除に関する条例
 - ・ 芦北町職員の定数に関する条例
- (条例の一部改正)
- ・ 芦北町税条例
 - ・ 芦北町民放テレビ放送共同受信施設条例
 - ・ 芦北町国民健康保険税条例
 - ・ 芦北町印鑑条例
 - ・ 芦北町高齢者生活福祉センター条例
 - ・ 芦北町特定公共賃貸住宅管理条例
 - ・ 芦北町特定公共賃貸住宅使用料条例
 - ・ 芦北町社会教育施設条例
- (陳情・請願・意見書)
- ・ 芦北町大字田浦町通称町地区、赤松川河口、河川敷町道編入及び舗装実現に関する陳情書
 - ・ 大雨時の冠水に伴う強制排水施設の早期設置に関する陳情書(湯北)
 - ・ 義務教育の根幹をなす義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願
 - ・ 分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める意見書の提出
- (平成16年度補正予算)
- ・ 一般会計予算
 - ・ 芦北町国民健康保険事業特別会計予算
- (報告)
- ・ 継続費繰越計算書
 - ・ 繰越明許費繰越計算書
 - ・ 有限会社あしきたマリンスービスの経営状況の報告
 - ・ 有限会社御立岬の経営状況の報告
- (その他)
- ・ 芦北町過疎地域自立促進計画
 - ・ 財産の取得(証明書自動交付機)
 - ・ 工事請負契約の変更(林道井牟田線)

《平成16年度》

一般会計補正予算(1~3月)

55億1858万円を承認

職員の定数条例を制定(285人)

(1) 町長の事務部局の職員	242人
(2) 議会事務局の職員	3人
(3) 教育委員会事務局の職員	29人
(4) 選挙管理委員会の職員	1人
(5) 監査委員事務局の職員	1人
(6) 農業委員会事務局の職員	4人
(7) 公営企業(水道事業)の事務局の職員	5人

道路・橋りょう関係では

- ・ 道路改良工事(21路線)他の道路新設改良費に 2億4166万円
- ・ 与内越橋工事ほか橋りょう新設改良費に 1億1558万円

佐敷小学校建設継続事業費(平成17・18年度)

総額14億1179万円の工事費

田浦基幹支所に証明書自動交付機設置



佐敷小学校の仮設校舎造成工事(佐敷駅裏)

《湯浦給食センター跡地に》
星野富弘美術館建設へ
葦北鉄砲隊の英国交流事業にも補助

6月定例議会は、6月24日招集され、28日までの5日間の会期で開催された。今回上程された平成17年度一般会計補正予算案と国民健康保険事業特別会計(国保特別会計)補正予算案ほか2件、専決処分分の平成16年度一般会計補正予算案や国保特別会計補正予算案、町税条例の一部改正案の承認、継続費繰越計算書案ほか3件の報告、町職員の定数に関する条例の制定案ほか1件、町国民健康保険税条例の一部改正案ほか6件、町過疎地域自立促進計画案、財産の取得、工事請負契約の変更などの議案、陳情3件、請願1件について、活発な質疑と徹底審査をして、いずれも可決した。

一般質問には、4名の議員が登壇し、通告要旨に添い町長や執行部の考えと対応策を問いただして、活発な発言と政策の提言等をした。

可決された平成17年度補正予算

○一般会計	112億9,373万円
○国民健康保険特別会計	(直診勘定) 7,083万円
○老人保健特別会計	30億7,833万円
○町有温泉特別会計	1億0,574万円



漁港整備工事予定の海浦漁港

こんな質疑があった!!

問 芦北海浜総合公園の独立採算性の考えは。
答 指定管理者制度を検討中。
問 星野富弘ギャラリー来館者のリピーターは。
答 リピーター数は把握していない。
問 釜地区排水ポンプ設置工事はいつするの。
答 2基は7月15日、残り2基は来年3月完成予定。
問 葦北鉄砲隊の英国派遣は特別旅費で計上すべきでは。
答 社会教育団体等育成補助金で計上した。
問 葦北鉄砲隊の文化協会の加入は。
答 平成16年4月1日に加入したが、国際交流協会には加入していない。

問 商工観光費の特別旅費は。
答 海浜公園のソープ、ローラーリージュの安価な備品購入のため、ニユージランドへの2人分の旅費。
問 星野富弘美術館の設置条例の制定はいつか。
答 来年3月を予定している。
問 御立岬土地活用計画と女島埋立地関係業務の委託料は。
答 御立岬公園の残土処分解消と活用、女島埋立地の幹線道路計画で町全体の発展の拠点づくりの視点で計画。
問 過疎地域自立促進計画の中で、不知火海横断フェリーは運休しているが。
答 訂正しないでいきたい。失いたくない航路と位置付けしている。
問 町文化財史跡「野坂の浦」(旧岡町)に終止符を打ってはどうか。
答 文化財保護委員会の見解を得て、対応したい。
問 町職員の定数条例の制定提案について、町長の所感は。
答 違法ではないが、適切ではないので、指摘の通り良い方向にと提案した。

第5回 臨時議会

星野富弘詩画作品購入費 1800万円を可決



町道尾白線の土砂崩壊現場（告地区）

第5回臨時議会は、7月15日招集され、1日間の会期で開催された。審議内容は以下のとおり。

専決処分の平成17年度一般会計補正予算の承認について
7月6日、早朝の大雨による災害箇所への復旧に係る、測量設計委託料、建設機械借上料等972万4千円を追加。

芦北町立学校条例と芦北町立幼稚園条例の一部を改正する条例の制定について。
佐敷小学校の改築に伴い、小学校と幼稚園の所在地を仮

設校舎の場所に移すもの。

財産の取得について
星野富弘美術館に展示する詩画作品のリトグラフ購入費1800万円

以上、上程された4件について審議した結果、全会一致で原案のとおり可決した。

また、芦北町農業委員会の改選に伴い、選任委員4名の委員を議会から推薦した。

農業委員に4氏を推薦



才新重秋氏（天月）



松田稲夫氏（大岩）



松田文彦氏（田浦町）



川口登氏（乙千屋）

新しい農業委員の皆さん

番号	氏名	地区	番号	氏名	地区
1	吉尾 博	吉尾	15	塚本 壽	八幡
2	白畑 義美	白木	16	遠山 省語	小田浦
3	松崎 馨	大野	17	小崎 良一	女島
4	宮崎 敏	乙千屋	18	片山 幸弘	田浦
5	桑原 房喜	田川	19	有吉 洋一	古石
6	今嶋 義郎	花岡	20	藪内 玉男	海浦
7	城迫 貫一	宮崎			
8	岩口 猶敏	大岩			
9	梶原 英夫	告			
10	倉永 隆之	豊岡			
11	濱田 正則	井牟田			
12	中原 正行	田浦			
13	立場 弘	立川			
14	森田 茂	米田			

選出区分	氏名
JAあきた推薦	釜 博志
共済組合推薦	山本 寛
議会推薦	松田 稲夫
議会推薦	川口 登
議会推薦	才新 重秋
議会推薦	松田 文彦

陳情2件を採択

1. 赤松川河口町道認定について

平成17年5月16日受理

(1) 要 旨

芦北町大字田浦通称町地区、赤松川河口、河川敷町道編入及び舗装実現に関する陳情

(2) 審査結果

芦北町町道路線認定基準を満たしており、認定に異議はないが、舗装実現については当委員会で決定すべき内容ではない等の意見があり、全会一致で採択した。



赤松川河口の河川堤防

2. 湯浦北の強制排水施設の早期設置について

平成17年6月14日受理

(1) 要 旨

芦北町大字湯浦通称湯浦北地区の大雨時の冠水に伴う強制排水施設の早期設置に関する陳情

(2) 審査結果

地域全体が低地であり、側溝整備も不備があり都市下水での整備をすれば排水も出来るのではないかな等の意見があり、公共下水の汚泥処理と併せて雨水排水計画をすれば出来るが、多額の費用を要するため現実的には無理である。何らかの解決方法をとらなければいけないが、執行部で技術的に検討して対応すべきとの意見があり、全会一致で採択した。

●以上2件について平成17年6月27日現地調査及び審査（担当課及び建設経済常任委員）

●平成17年6月28日定例議会上程

建設経済常任委員長報告の後、全会一致で可決



現地で地区住民の説明を受ける委員

全員協議会を開催

1. 佐敷小学校建設について

事業費（14億1179万円）敷地面積17,771.12㎡ 木造、鉄筋造り2階建て

2. 芦北町過疎地域自立促進計画について

芦北町の概況・現状・問題点・対策・推移・動向他

3. あしきた星野富弘美術館建設について

建設場所 芦北町大字湯浦（湯浦給食センター跡地）

予算額 147,277千円（うち建設費112,846千円）

オープン予定 平成18年5月13日予定

4. 葦北鉄砲隊国際交流事業補助金について

イギリス王立武器博物館で、將軍展での鉄砲演武披露

事業内容 葦北鉄砲隊（15名）への補助

実施時期 平成17年7月28日～平成17年8月6日まで（10日間）

事業費 6,374千円、テレビ制作費 2,835千円（テレビ熊本）

5. 固定資産税の還付について

地方税法で軽減特例措置が定められた固定資産税を町が過剰徴収していたために全額返還。

総額4,038,000円。

介護保険事業の現状と 今後の取り組みは？



鳥居議員

- 質** 事業スタート以来、円滑な運営で推移しているのか。
- 答 町長** おおむね順調に推移している。
- 質** 中心的役割を果たし、仕事の質の向上が求められるケアマネジャーやホームヘルパーの現状はどうか。
- 答 町長** 9事業所に29人のケアマネジャーと7事業所に58人のホームヘルパーがおり、それぞれ質の向上とサービス向上のため、研鑽にはげんでおられる。
- 質** 保険料滞納額の要因と積算額、徴収方法はどうか。
- 答 町長** 要因は、経済的理由によるものが大半を占めており、滞納繰越額は359万4470円となっている。
- 質** 徴収方法については、各戸徴収をしているのか。
- 答 町長** 要介護者の増加で、今後の推移と課題をどうみているのか。
- 質** 介護保険制度は厳しい状況が続くと予想されるが、今後も国の政策によって対応していくことになるのか。
- 答 町長** 介護保険制度は厳しい状況が続くと予想されるが、今後も国の政策によって対応していくことになる。
- 質** 新予防サービスの導入効果をどうみているのか。
- 答 町長** 効果に期待している。
- 質** 介護施設で、本年10月から食費・居住費等が原則自己負担になるが、利用者の影響をどうみるのか。
- 答 町長** 利用者に対しては、厳しくなってくると思われる。



五松園デイサービスセンターで筋力トレーニング中の高齢者

農業振興方策について



荒川議員



飼養中の優良繁殖牛

- 質** 芦北町の立地条件を活かして、全国的に減少傾向にある和牛繁殖経営を取り入れ、推進する考えはないか。
- 答 町長** 現在大野地区を中心に18戸の和牛繁殖農家があり、町としても優秀な繁殖牛を導入すべくJA和牛部会と協議調整を行い、将来の芦北和牛のブランド化を目指し、導入計画により支援しているところである。
- 質** 牛舎の建築等に補助を行い、幅広く人材を求め、和牛子牛の資質県下一を目指した産地作りの考えはないか。
- 答 町長** 個人の農家への補助という形では、おのずと制約があり、農家がまとまり省力化、環境面からの施設整備等の取り組みについては、今後の課題とさせていたたく。
- 質** 各種スポーツが、将来プロスポーツ選手を目指し、県体や公式試合のできるグラウンドが必要と思うが取り組み考えはないか。
- 答 町長** 「地域包括支援センター」の創設をどう考えているのか。
- 答 町長** 運営主体を町営または委託での設置に向けて検討していく。
- 質** 事業運営への影響と今後の対応はどうか。
- 答 町長** 旧岡町では介護保険料に格差があった。現行を維持する一町二制度を持続しているが、今後、運営調整委員会の審議結果をもとに介護保険料の設定をしていく。
- 質** 各種競技の公式試合のできるグラウンド整備については、当然広大な用地が必要である。現在進めている総合グラウンド周辺整備基本計画に基づき、町の規模や競技人口、隣接する自治体等の施設状況等を勘案し、検討したい。
- 答 町長** 各種競技の公式試合のできるグラウンド整備については、当然広大な用地が必要である。現在進めている総合グラウンド周辺整備基本計画に基づき、町の規模や競技人口、隣接する自治体等の施設状況等を勘案し、検討したい。



しろやまスカイドームに隣接する現在の総合グラウンド

本町の教育行政基本方針について



宮尾議員

質 小中学校のスポーツ団体は各種あるが、体育施設の使用料を徴収している。人材育成の一環として無料に出来ないのか。

答 教育委員長
人間形成の基礎が生涯にわたり幼児教育にある。芦北町の教育目標は、各年ごとに課題をまとめ、課題を踏まえた学校独自の教育目標を作成し取り組んでいる。

答 町長
芦北町の将来を左右する重要な課題と受け止めている。人材育成を目的とした芦北町独自の理念を確立し、それに基づいて各種施策を展開していきたい。

質 人材人格形成が、まちづくりの基本であるが、本町の現状をどう認識されているか。その上で幼児教育、小学校・中学校で、どのような取り組みを講じられているのか。



大野小学校では、水稻を育て、販売代金をカンボジア学校建設に寄付しています。

答 生涯教育課長
旧芦北町時代から小中学校の部活については、体育施設は無料である。旧田浦町には部活がない。社会体育クラブでの位置付けで、社会体育クラブには、年間一律3万5千円の補助制度を設けており、プラス遠征の費用も規則により設けている。現在規則改正は考えていない。

質 平日の一般車両利用率を高めるため、行政や公職に携わる者は自ら意識して利用し、福祉団体、学校等の行事に積極利用を呼びかけ、一般人にも利用意識の輪を広げることが大切だと思いませんか。

答 町長
現在計画にある。本町側とおれんじ鉄道側で協議に入っている。

質 夏場の利用客増の対策の一環で、公園駅から御立岬公園までのシャトルバス計画はないのか。

答 町長



利用促進が望まれる肥薩おれんじ鉄道（佐敷駅）

答 町長
敬服した。お説のとおりであり、職員も数名利用している。地域住民の要望を広く聞きながら、利用促進に向けた拡大を図ってきたい。

肥薩おれんじ鉄道の利用促進方策について

星野富弘氏との縁や関係は？



川尻議員

自治公民館活動の活性化・促進策を問う

質 本町の新未来づくり、みんなが主役のまちづくりの中で、自治公民館活動の現状と今後の活性化促進の具体策について。

答 町長
地域性、文化・歴史を活かしながら、住みよい地域づくりを進めるために、活動に各地域が取り組んでおり効果は表れつつある。

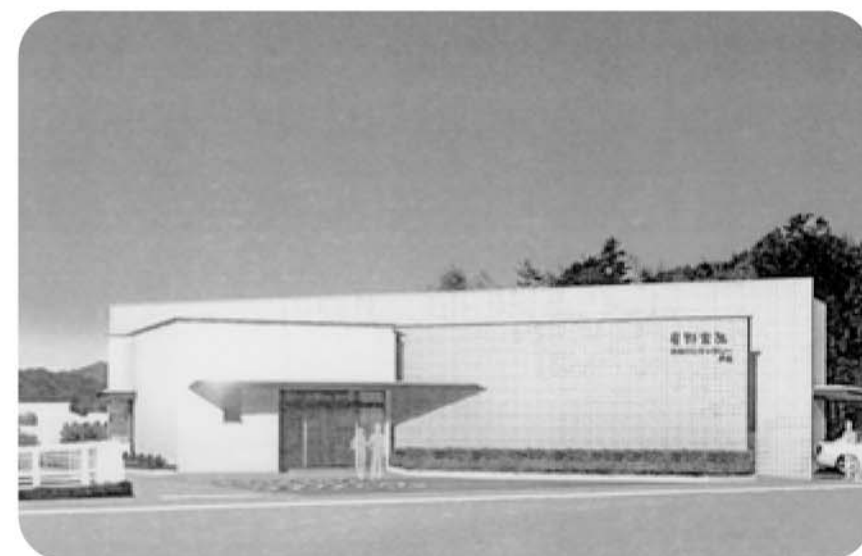
答 教育委員長
連絡会議や役員会の研修を定期的に実施して、リーダーの育成に努める。

星野富弘美術館構想とは

質 星野富弘氏と本町との縁

や関係はあるのか。新町建設計画には無いが、いつ計画されたのか。運営は教育委員会の所管ではないのか。

答 町長
平成6年に県立美術館での星野富弘詩画展の開催を期に県とのつながりができ、本町が障害者等にやさしい町づくり推進事業に取り組みしている。



星野富弘美術館の完成予想図

り組んだことにより、ヘルシーパーク内にギャラリーを開設した。
新町建設計画は平成15年5月に策定されたものであり、時の推移とともに変更がありうるものと考えます。

答 教育長
障害者の地域住民との心の交流拠点の整備であり、

福祉施設としての位置付けである。
答 福祉課長
入場者は、年間1万5690人を見込んでいます。

職員定数条例について

質 職員定数条例は、町長部局各行政委員会事務局ごとに定数を規定するよう、地方自治法等に定められている。本町の定数条例では、総数だけを規定してあるが、法令に抵触するのではないか。

答 町長
各部局ごとの定数は、規則に委任しており、法令には違反していないが、今議会において条例改正を提案する。

大丸議長が県町村議長会長に就任

6月の臨時総会で選任

議会のうごき

- 4月22日 建設経済常任委員会
- 24日 御立岬ジョギングフェスタ2005
- 25日 新佐敷トンネル工事安全祈願祭
文教厚生常任委員会
- 26日 総務常任委員会
- 27日 県町村議会議長会第1回理事会
- 5月10日 県道芦北坂本線早期完成に向けた陳情活動
- 12日 葦北郡議会議長会正副議長会議
- 21日 2005御立岬ビーチサッカーフェスティバル大会
- 24日 第30回町村議会議長研修会
- 6月1日 県国會議員と町村長・町村議会議長との意見交換会
「分権改革日本」実現全国大会
- 3日 南九州西回り自動車道建設促進期成会役員会
- 16日 議会運営委員会
- 24日 定例議会（一般質問）
全員協議会
- 27日 建設経済常任委員会
- 28日 定例議会（最終日）
- 7月10日 第18回ビーチバレーインくまもと大会
全員協議会
- 13日 臨時議会
- 15日 臨時議会
- 23日 夏まつり大会開会式

芦北町の大丸清光議長が6月14日開催の県町村議会議長会臨時総会で、県町村議会議長会会長に就任されました。芦北町にとっても大変名誉なことであり、今後ますますのご活躍を期待いたします。



大丸清光議長



審議中の6月定例議会

前島龍二議員が辞職

去る3月30日、前島龍二議員から議長あてに辞職願が提出され、3月31日に許可されました。定数30名に対し29名になりました。

議会広報特別委員会

委員長	鳥居憲太郎
副委員長	元山秀志
委員	荒川臣六
委員	前田徹一
委員	小川紀次
委員	草野安道
委員	白坂康浩

6月梅雨の季節を迎えました。しかし雨が降らず、水不足のニュースが全国各地より伝えられました。今年には空梅雨かと思っていまして、7月になると大雨の連続、今度は各地で水害のニュースが報道され、災害のない適度な雨を望んでいます。が、なかなか思うようにはいきません。やはり地球温暖化の影響が現実のものとして現れていると、最近特に感じています。

資源を大切に、エネルギーを大事に使っていかねければと思っております。

（荒川）



編集後記